

議会だより

2023 冬 No.105

発行：初山別村議会

編集：議会報発行特別委員会

令和 5 年 2 月発行

提出議案と審議結果

議案番号	案 件 名	結果
報告第 4 号	専決処分の報告について (損害賠償の額の決定について)	報告済
議案第51号	令和 4 年度初山別村功労者表彰について	可決
議案第52号	職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第53号	職員の分限に関する条例の全部を改正する条例の制定について	可決
議案第54号	地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	可決
議案第55号	職員の高齢者部分休業に関する条例の制定について	可決
議案第56号	職員の降給に関する条例の制定について	可決
議案第57号	令和 4 年度一般会計補正予算 (第 8 号)	可決
議案第58号	令和 4 年度国民健康保険特別会計補正予算 (第 3 号)	可決
議案第59号	令和 4 年度介護保険特別会計補正予算 (第 3 号)	可決
議案第60号	令和 4 年度後期高齢者医療保険特別会計補正予算 (第 2 号)	可決
議案第61号	令和 4 年度簡易水道事業特別会計補正予算 (第 5 号)	可決
議案第62号	令和 4 年度農業集落排水事業特別会計補正予算 (第 2 号)	可決

12月 定例会

12 月議会定例会は、12 月 13 日に開かれました。村長提出の議案は、令和 4 年度初山別村功労者表彰はじめ、条例の制定、改正、一般会計及び特別会計の補正予算など 13 件で、いずれも審議の結果、原案どおり可決されました。

一般質問では、加藤議員・高場議員・三谷議員・斉藤議員が村政の執行について、村長・教育長の考えをたきました。

報 告

■専決処分の報告【損害賠償の額の決定】

↓令和4年10月4日発生のスクールバス事故による損害賠償の額
3万3千円

功 労 者 表 彰

■平成22年7月3日から
初山別村監査委員として
12年間在職

初山別村字初山別
野 村 英 雄 氏

条 例

■職員の定年等に関する
条例の一部を改正する条
例

↓地方公務員法の一部を
改正する法律の施行によ
る職員の定年引き上げに
伴う改正。

■職員の分限に関する条
例の全部を改正する条例

↓地方公務員法の一部を
改正する法律の施行によ
る職員の定年引き上げに
伴う改正。

■地方公務員法の一部を
改正する法律の施行に伴
う関係条例の整備に関す
る条例

↓地方公務員法の一部を
改正する法律の施行によ
る職員の定年引き上げに
伴い新たに制定。

■職員の高齢者部分休業
に関する条例

↓地方公務員法の一部を
改正する法律の施行によ
る職員の定年引き上げに
伴い新たに制定。

■職員の降給に関する条
例

↓地方公務員法の一部を
改正する法律の施行によ
る職員の定年引き上げに
伴い新たに制定。

補 正 予 算

■一般会計（第8号）

↓2961万6千円を追
加し、26億5045万3
千円に。

【北極星】
Q 高場議員

北極星の指定管理者募
集の公募結果は。

A 寺崎経済課長
広報による意向調査の

結果、1件の希望があつ
た。

【デジタル基盤改革支援
国庫補助金】

Q 高場議員

この補助金の算定基準
は。

A 加藤総務課長

システム導入には全額、
ネットワーク整備につい
ては2分の1補助となつ
ている。

【コロナワクチン予防接
種】

Q 鎌田副議長

ワクチンの接種率は。

A 小川住民課長

希望者全員、接種でき
ている。

■国民健康保険特別会計
（第3号）

↓78万7千円を減額し、
2億6204万9千円に。

■介護保険特別会計（第
3号）

↓51万4千円を減額し、
1億9720万7千円に。

■後期高齢者医療保険特
別会計（第2号）

↓52万5千円を追加し、
2189万9千円に。

■簡易水道事業特別会計

（第5号）

↓251万9千円を追加
し、1億6839万1千
円に。

■農業集落排水事業特別
会計（第2号）

↓154万4千円を追加
し、1億535万1千円
に。

臨 時 議 会

★第2回臨時会

（11月25日）

■職員の給与に関する条
例の一部を改正する条例

↓人事院勧告に伴い、職
員の給与を引き上げ。

給料表

改定率 0.23%

勤勉手当

年間 0.1月分

■議会の議員の議員報酬
及び費用弁償等に関する
条例の一部を改正する条
例

↓職員に準じ、議員の期
末手当を引き上げ。

年間 0.1月分

■特別職の職員の給与に
関する条例の一部を改正
する条例

↓職員に準じ、村長、副

村長、教育長の期末手当
を引き上げ。

年間 0.1月分

■フルタイム会計年度任
用職員の給与等に関する
条例の一部を改正する条
例

↓職員に準じ、給料を引
き上げ。

給料表

改定率 0.23%

■専決処分の承認を求め
ることについて【令和4
年度一般会計補正予算
（第6号）】

↓100万8千円を追加
し、25億2737万1千
円に。

■一般会計補正予算（第
7号）

↓9346万6千円を追
加し、26億2083万7
千円に。

■簡易水道事業特別会計
（第4号）

↓1290万5千円を追
加し、1億6587万2
千円に。



加藤 一裕 議員

Q マイナンバーカード 取得への取組みは

A 出張申請など、環境整備と 取得支援の検討を進める

マイナンバーカードの普及策に対する村としての今後の取組みについて

議員

マイナンバーカードの交付は、2016年1月より始まり約7年が経ちます。当村においては、10月末現在48.4%の取得率となっております。当初は、個人情報漏洩や利便性等に不安を抱え、取得率が低迷していました。しかし、最近になり徐々に上昇傾向になっております。

現在国の普及策として、健康保険証や運転免許証と一本化、買い物に使えるポイント付与、コンビニで住民票や印鑑証明書発行、オンライン取引やチケット転売防止対策での利活用等の方策を打ち出しております。

特に健康保険証について国は、2024年秋には今の保険証の廃止の方針を打ち出しており、住民のマイナンバーカード取得について、早急な対応が必要と考えるが、村として今後、カード取得

の「加速化」に向けてどの様に取組むのか、村長の考えを伺います。

村長

マイナンバーカードを取得いたしますと、身分証明書としての利用や行政手続きのオンライン申請等が可能となるなど、暮らしの利便性の向上と行政の効率化が図られることとなります。交付状況についてですが、全国交付率53.9%、全道交付率52.2%、本村交付率53.1%となっております。ところで、便利となる反面、取得が進まない理由として、「カード取得することにメリットや必要性を感じていないこと」、「申請及び取得手続きの手間」などがあげられ、特に「個人情報の漏えい」への不安感・不信感が大きいのではないかと思われまます。普及促進に向けては、現在も担当窓口において、無料の写真撮影からオンライン申請までを行っており、マイナンバーカード交付後の相談等の対応について

も行っているところで、これらについても継続実施していくことで考えております。今後、全村民のマイナンバーカード取得を目指し、申請窓口の夜間・休日開設、村健診や各種集会・イベント時などに臨時申請窓口の開設、役場まで申請に来ることができない方には各戸まで出張申請などマイナンバーカードを取得しやすい環境整備と取得に向けた支援について検討を進めることといたします。

一問一答

議員

特に健康保険証との一本化で必要性が重視したと思われる。ワクチン接種会場での普及活動がなされたらと思ったが。

村長

安全性が保たれることにより、村民の皆さんにも理解いただいた中で普及に努めたい。

議員

ポイント付与へのサ

ポートについては。

村長

情報提供、拡大に向けた対応をしていきたい。

議員

取得率が交付税等へ反映する案が出ているが。

村長

村民の不利益とならないよう、アンテナを高くし対応をしていきたい。

議員

村民の不利益とならないよう対応をしていたきたい。



宮本 村長

一般質問



高場 志津子 議員

Q 自主防災組織への支援について

- ①地域ふれあい担当職員による支援について
- ②自主防災組織連絡協議会への支援について
- ③戸別防災品の分散化について

A 職員の体制づくり含め検討していきたい

議員

議会総務経済常任委員会では、先進地高知県黒潮町で行政視察研修会を行ってきました。小規模自治体でも出来るソフト面での対応について、自主防災組織とはいえ、現段階では情報、ノウハウ、スキルを有する行政が共に関わり、リードし、支援してゆく事で主体性のある組織へと向上し、「安心して住み続けられる村づくり」に寄与すると思われるます。次の3点について伺います。

①黒潮町では、全職員による、各地区の防災担当制を導入することにより、防災対策が短期間で大きく進捗した。本村でも地域ふれあい担当職員が配置されており、各自主防災組織内で懇談会やワークショップを主導されてはいるが、今後の必要となってくる地区防災計画・戸別避難カルテ・避難所運営マニュアル作成や様々な状況を想定した訓練の実施等、組織の充実、強化が図られるのではないのでしょうか。

②どの地域に住んでいても同じ様な対策が保たれるようにするには、組織同士の情報交換や連携が必要です。自治会長にこだわらず、担当者を選出していただき、行政が事務局を担う事で連絡協議会設立への働きかけをしてみてはいかがでしょうか。

③防災グッズ（避難セット）は配布された年度により違いがあるようだが、中身を見ると避難所では使わない物が多い、それぞれの指定避難所に避難所で使用する物を置く事により、防災バックに余裕ができ、他の必需品を入れ、備える事ができます。本村には21カ所の指定避難所があります。希望する方への分散化は可能と思われるが。

村長

①自主防災組織の育成強化を図る上で、平常時における自主防災組織内での懇談会や意識啓発、地域課題の洗い出し、課題に対する対策の検討などを話し合うワークショップなどが開催される際には、防災担当である企画振興室を始め、地域ふれあい担当職員がそれ

への支援は。

村長

組織が立ち上がったことがゴールではなく、組織を育てて、全体として防災力を高めることが必要と認識。

議員

共助の体制を整えるため防災に特化した話し合いの場を設けてほしいが。

村長

共助を育てるのは公助の大きな役割。そういった形が良いか、スピード感をもつて対応したい。

議員

連合組織の必要性をどう考えるか。

村長

連合体を否定はしないが、他の組織の活動状況等の情報提供を行い、必要となれば検討する。

議員

配布された防災バックの中身を指定避難所に置く事については。

村長

同じ認識である。防災関係の備品、グッズ共に整理の仕方が大事と思う。

一問一答

議員

行政主導での防災組織



三谷 博子 議員

Q 教育支援センターの 設置、充実が必要では

A センターの設置予定はないが
支援体制の充実を図る

誰一人取り残されない児童生徒の将来を見据えた学校づくりについて

議員

令和3年度「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果」によると、昨年度の全国の小・中学校における不登校児童生徒数は9年連続で増加し、過去最多となっている。

北海道の小・中学校における不登校児童生徒数の推移についても、全国の傾向と同じく増加傾向にあり、過去最多となっている。不登校に関する調査研究協力者会議においても、相談につながりにくい、課題を抱えている児童生徒を、学校・教育委員会において、早期に把握し、適切な支援につなげていくことが必要であることから、今後重点的に実施すべき施策の方向性の一つとして、不登校児童生徒の多様な教育機会の確保があげられている。次の2点について伺う。

①本村教育委員会として

も、フリースクール等民間団体のノウハウを活用した、公設民営の教育支援センターの設置等、教育支援センターの支援充実を行う必要があると考えるがどのように考えているか。

②令和4年6月17日現在の情報では、留管内に教育支援センターの設置はない。児童生徒一人一人を大切にした教育を推進していくためにも、管内で先立って教育支援センターの設置をしてはどうか。

教育長

①教育支援センターの設置による支援の充実は重要な役割であると認識しておりますが、本村の小学校児童41名、中学校生徒19名合わせて60名であり、一人一人、少人数校だからできる対策として、『適応指導が必要となる前段の対策』、『教育支援センターへの通所が必要となる前段の対策』が最優先に取り組むべき課題であると考えており、原因発生の比較的早い段階

における対策や支援の仕組みづくりを再検討している。

②現段階において教育支援センター設置予定はありませんが、現在、児童生徒一人一人及び初山別村の実情に合った取り組みを基本として、学びをつなぐ学校づくりの一つとして、一昨年よりICTを活用したりモート授業体制の構築も進めており、今後の状況や必要性を鑑み、更に学習体制の充実に向けた対応を検討していきたい。

一問一答

議員

先生一人では対処するのは難しいのでは。

教育長

チームとして対応する体制としている。

議員

学習の遅れを助ける体制は。

教育長

改善をすべきところはあるが、リモートにより実施。

議員

学校での取り組みの他に民間の支援も受けながら、教育委員会に相談できる場所を作っては。

教育長

保護者へは不安ある際ご相談いただければとしている。相談内容は、特別支援教育連絡協議会で対応している。

議員

子供たちにしっかりと学ぶ機会を保障するために、周りが支援するということとは、とても大事ですので、しっかりと支援の良いかたちを作りたい。



宇野 教育長

一般質問



斉藤 勝博 議員

Q 次期村長選への再出馬について

A 村政運営に全霊を尽くすべく 再度の立候補の決意をした

議員 次期の統一地方選挙への宮本村長の再出馬について

平成3年から4期16年続いた阿部村政の後継を担い、平成19年4月の初当選から、現在4期16年目となります宮本村長の任期も、残すところ4ヶ月余りとなりました。地方自治体を取り巻く環境が目まぐるしく変化してきた時代の、難しい舵取り役を担われてこられました、宮本村長におかれましては敬意を表する所でございますが、同時に統一地方選挙を来春に控えました、宮本村長の進退におかれましては、多くの村民の皆さんも注視しているところであると思えます。引き続き村政を担うべく5期目を目指し、次期村長選挙に再出馬される考えがあるかを伺います。

村長 今年も残す所、あと半月程となりましたが、本年度は私の4期目の任期最後の年度であり、歳月

の流れの早さを改めて感じていた所であり、この15年8ヶ月余りの間、「村の発展と村民の皆さんの幸せ」を願い、村政推進の柱であります、「第8期初山別村総合振興計画」を基軸とし、求められる様々な課題に対し全力で取り組み、村政運営を進めて参りました。国や地方の経済情勢はコロナ感染症への対応等もあり、極めて厳しい状況が続いておりますが、社会背景を的確に捉え、「住民の皆さんの視点を大切に」、健全財政を維持しながら、施策の推進に邁進してきた所であり、今日までの間、議会議員の皆様を始め、村民の皆様から、深いご理解とご支援を賜り、又、関係機関や関係団体等の多くの皆さんのご指導とご助言を頂きましたこと、心から感謝とお礼を申し上げます。上げる次第であります。過般開催されました、私の後援会役員会におきまして、再度の出馬を要請され、又、今後の村政

運営について自らの考え方を示し、深いご理解と激励を頂いた所であり、す。地方自治体を取り巻く環境は、時代の大きな転換点にあり、かつてない難題・課題を抱えておりますが、4期16年間積み重ねた貴重な経験を生かし、初心を忘れることなく、「村民の皆さんがふる里に誇りを持ち、安心して暮らすことのできるふるさとづくり」、「次の時代を担う若い人達が夢と希望を持てる元気な村づくり」に向けて、来期もその先頭に立ち、村政運営に全霊を尽くすべく、再度の立候補の決意を致した所であります。

一問一答

議員

4期16年間の公約の達成感は。

村長

4期16年の間、力強い基幹産業の振興、福祉の向上と暮らしの安心・安全、教育の振興充実、そして村民の皆さんみんな

での協働の村づくりを大きな柱として掲げてまいりました。特に4期目の4年間では、産業振興に係る担い手対策に起点を置き、これからの基幹産業を農林漁業とする本村が、未来永劫続いていくためには、地域産業の担い手の確保こそが極めて重要と考え、議員の皆さんのご理解をいただきながら様々な施策、特にソフト事業を展開してきたところでもあります。また、高度情報化時代もあつて高度情報基盤の整備を入れることができました。加えて、また住民の皆さんの足を確保するため、しよさまる号もなんとか運行するところまでできましたし、合わせて長年実施することができなかった子ども達の給食、スクールランチを始めることができたのが、私にとっても大きな喜びでありました。

学校定期監査

令和4年度学校定期監査を11月10日に村内小中学校で実施。

監査委員 荒木 隆
監査委員 山本 康男

1 監査対象

・令和3、4年度配分予算実行状況。

・施設の管理状況、備品整理保管状況、理科薬品等の保管状況。

2 監査結果報告

・配分予算の執行状況、伝票経理事務、各備品台帳の整理、備品の整理、保管は、概ね適正に執行されていると認めた。

・校舎内の管理、清掃等は、適正と認めた。

・理科薬品、器具類等の整理、保管は、適正と認めた。



議会のうごき

11 月		12 月	
2	総務経済常任委員会 (委員長外委員多数及び議長)	2	議会運営委員会 (委員長外委員全員及び議長)
10	学校定期監査 (監査委員)		議会全員協議会 (議長外全議員)
11	例月出納検査 (監査委員)	12	例月出納検査 (監査委員)
18	総務経済常任委員会 (委員長外委員全員及び議長)	13	第4回定例会 (議長外全議員)
22	羽幌町外2町村衛生施設組合議会定例会 (斉藤議員・羽幌町)	1 月	
	北留萌消防組合議会定例会 (加藤議員・羽幌町)	4	二十歳のつどい (議長外議員多数)
25	第2回臨時会 (議長外全議員)	7	初山別村消防団出初式 (議長)
	議会報発行特別委員会 (委員長外委員全員)	17	例月出納検査 (監査委員) 議会報発行特別委員会 (委員長外委員全員)

編集後記

寒さ厳しい中、村民い
かがお過ごしでしょうか。
去年は戦禍・コロナ禍
そして物価高。更には、
安心安全に生活するであ
ろう、保育園や福祉施設
等での暴力行為など切り
がない悪の話題が多かつ
たように思われてなりま
せん。

「和敬清寂」意見はぶつ
かつて、相手を敬う気
持ちを持てば、争う事無
く、お互いが居心地のよ
い、平和で清々しい関係
が生まれる。上下も、優
劣も、自分も他人も、自
国も他国もないのだから、
争ってもしょうがない。
平和に生きて行こう。
(文責・加藤 一裕)

議会報発行
特別委員会

委員長 三谷 博子
副委員長 長谷川 幸廣
委員 山本 康男
委員 加藤 一裕

● 今月の主な行事予定 ●

(2/10～3/10)

月	日	行 事 等
2月	10(金)	広報しよさんべつ配布 (2月号)
	11(土)	
	12(日)	
	13(月)	
	14(火)	
	15(水)	
	16(木)	
	17(金)	破碎ごみ (初山別・千代田)
	18(土)	
	19(日)	
3月	20(月)	
	21(火)	
	22(水)	ほしっこくらぶ会場開放日
	23(木)	
	24(金)	
	25(土)	
	26(日)	
	27(月)	
	28(火)	広報配布 (お知らせ版)
	1(水)	ほしっこくらぶ
4月	2(木)	予防接種
	3(金)	ふじみ保育所 ひなまつり撮影会
	4(土)	
	5(日)	
	6(月)	
	7(火)	
	8(水)	乳幼児健診
	9(木)	
	10(金)	広報しよさんべつ配布 (3月号)

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、予定されている行事などにつきまして、中止や延期、規模縮小などの措置をとることがありますのでご了承願います。

鏡もちの寄贈



るもい農業協同組合様より鏡もちを寄贈していただきました。鏡もちは正月期間中、役場庁舎ロビーに供えさせていたいただきました。(12月27日)

森と人を育てるコンクール奨励賞受賞

令和4年度「森と人を育てるコンクール」において酒井茂樹氏が奨励賞を受賞



されました。このコンクールは林業技術の向上や森林づくりに対する道民意識の高揚・参加促進を目的としており、適切な森林整備・模範となる優良林分を育てていることが評価されたことから受賞されたものです。(1月16日)

初山別村農地等利用調整最適化推進施策に関する意見書の提出

令和4年12月27日、初山別村農業委員会は初山別村長に対し「初山別村農地等利用調整最適化推進施策に関する意見書」を提出しました。

意見書は農業委員会等に関する法律38条に基づいて、農地等の利用の最適化の推進について、より効率的かつ効果的に実施するために提出するものです。また、内容については、農業委員及び各関係団体からの意見を取りまとめたものです。

主な項目は以下のとおりです。

1. 持続可能な農業について
2. 担い手への農地利用の集積・集約について
3. 新規参入の促進について
4. 水田活用直接支払交付金について
5. 鳥獣害対策について
6. 農業委員への女性の登録促進について



初山別村民憲章 きまりを守り、力を合わせ心にうるおいのある村にしましょう。